

個々の問題の出題の意図及びその正答率

国語 中学校 第2学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点				正答率
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項	
話すこと・聞くこと	一	1	1	どのような事実を取り上げて話しているかを正しく聞くことができる。	○				90.0
		2	2	話し手の意図を考えながら、説得力のある説明の仕方について正しく聞くことができる。	○				96.9
		3	3	話し手の立場を理解しながら、話の内容を正しく聞くことができる。	○				87.8
		4	4	話し手の説明の仕方の工夫を正しく聞くことができる。	○				97.2
読むこと	二	5	5	指示語が指し示す内容を正しく理解しながら読むことができる。			○		88.1
		6	6	文章における語句の意味を正しく理解しながら読むことができる。			○		83.0
		7	7	筆者の論理の展開を正しく理解しながら読むことができる。			○		80.8
		8	8	文章の要旨を正しく理解しながら読むことができる。			○		84.6
		9	9	表現の仕方や文章の特徴を正しく理解しながら読むことができる。			○		74.5
		10	10	文章を読んで、筆者の意見について自分の考えとその理由をもつことができる。			○		65.5
言語事項	三	11	11	中学校2年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。			○		96.6
		12	12				○		99.1
		13	13				○		70.8
		14	14				○		98.2
		15	15				○		96.8
	一	16	16	小学校6年生までに学習した漢字を正しく書くことができる。			○		33.2
		17	17				○		85.6
		18	18				○		80.4
		19	19				○		70.1
		20	20				○		88.6
二	21	21	文の意味をとらえて語句を正しく使うことができる。			○		75.8	
	22	22	対義語を正しく使うことができる。			○		61.0	
	23	23	同訓異字の言葉を正しく使うことができる。			○		97.1	
	24	24	同音異義の言葉を正しく使うことができる。			○		86.2	
三	25	25	単語の働きを正しく理解している。			○		40.5	
	26	26	慣用的な表現を正しく使うことができる。			○		90.0	
	27	27	敬語を正しく使うことができる。			○		82.0	
	28	28	古文の仮名遣いを正しく理解している。			○		95.5	
書くこと	四	29	29	資料から分かることを、主語・述語が整った文で書くことができる。		○			76.4
		30	30	資料をもとに具体的な例や体験から自分の考えや理由をもち、決められた字数で書くことができる。		○			63.3